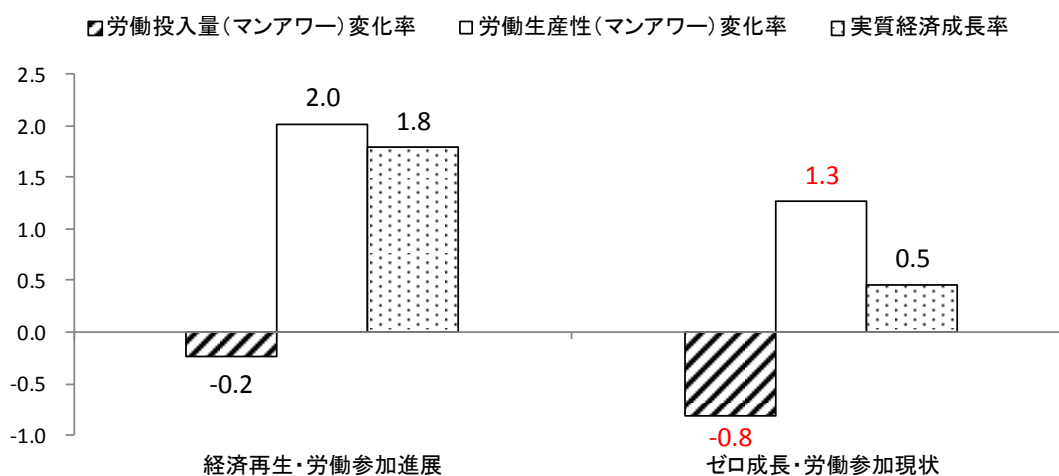


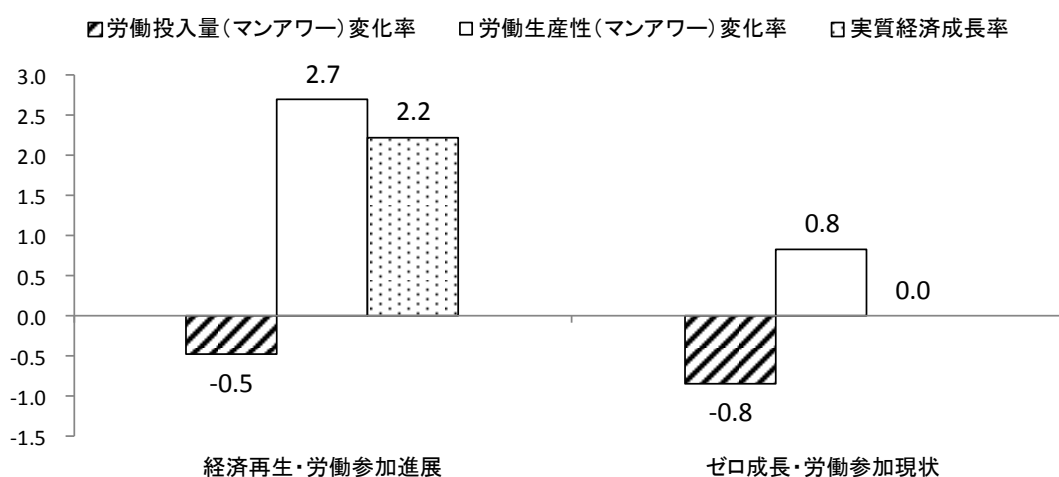
訂正

図 2-2 労働生産性（マンアワー）の推移（単位：％）

2014～2020年（年平均）



2020～2030年（年平均）



注)1. 労働投入量（マンアワー）変化率及び労働生産性（マンアワー）変化率は推計値（労働生産性（マンアワー）変化率は、経済成長率と労働投入量（マンアワーベース）変化率から算出）。労働時間には、フルタイム・短時間雇用者の加重平均値を使用している。経済再生・労働参加進展の2014～2023年における実質経済成長率は内閣府「中長期の経済財政に関する試算」（2015年7月22日経済財政諮問会議提出）に基づき、2024年以降及びゼロ成長・労働参加現状の実質経済成長率は本研究における想定。

2. 経済再生・労働参加進展：経済成長、及び若者、女性、高齢者等の労働市場参加が進むシナリオ
 ゼロ成長・労働参加現状：ゼロ成長に近い経済成長で、性・年齢階級別の労働力率が2014年と同じ水準で推移すると仮定したシナリオ